

## 中国（上海市）における現地情報

2022年 5月 17日

株式会社フェアコンサルティング

上原 行雲

### 上海市における納税申告期限の延長と各種年度業務の申告期限について

#### 1. 上海市における納税申告期限の延長

上海市におけるロックダウンが継続するなか、2022年4月25日付で、上海市税務局から4月および5月の申告納税期限延長に関する通告が公表されました。具体的な内容は、以下のとおりです。

- 一. 月ごと、または四半期ごとに申告する納税者について、4月及び5月の申告納税期限を5月31日まで延長する。
- 二. 納税者は疫病の影響により、2022年4及び5月の申告納税期限内に申告を行うことが困難な場合、法に基づいて税務機関に対して申告の延長を申請することができる。納税者は国家税務総局上海市電子税務局上の（「我要办税」-「税务行政许可」-「对纳税人延期申报核准」）を通じて延期申告手続きを行うことができる。

上記の4月及び5月の申告対象は、それぞれ2022年3月度及び4月度となります。

予期せぬロックダウン延長の影響により、通常の申告納税ができない会社も多いかと思えます。5月31日以降の申告期限の延長申請も可能ですので、各社の状況にあわせて更なる延長申請もご検討ください。

#### 2. 各種年度業務の申告期限

2022年も5月となり、今年も確定申告や年度報告の時期となりました。既にご存じの方も多いと思いますが、ここで改めて2021年度の年次業務として実施すべき内容と申告期限を以下の表にまとめました。

項目	報告先	申告期間
企業所得税確定申告	主管税務機関	1月1日～5月31日
個人所得税確定申告	主管税務機関	3月1日～6月30日
工商年検及び連合年検	市場監督管理局・商務委員会・統計局・税務総局 ・税関・財政局・外貨管理局	1月1日～6月30日

※2020年1月に施行された外商投資法により、2019年度分から、連合年検は工商年検で使用する企業情報信用システムを通じて、市場監督管理局から各関連機関に対して情報共有が行われることとなっています。そのため、各機関に対する個別の年度報告の実施は不要となっています。

1と異なり各種年度業務に関しては、延長の措置が現時点（2022年5月6日時点）で公布されていません。各種業務に遅延が生じないようにご注意ください。

フェアコンサルティング中国  
（正緯企業管理諮詢（上海）有限公司）

<p>北京分公司 北京市朝陽区東三環北路甲19号楼 嘉盛 SOHO 10層 A058室 電話：+86-10-8524-0758 担当：粟村（AWAMURA）日本国公認会計士 <a href="mailto:hi.awamura@faircongrp.com">hi.awamura@faircongrp.com</a></p>	<p>蘇州分公司 蘇州工業園区華池街88号 晉合広場2号11F 1176室 電話：+86-512-8916-5176 担当：坂林（SAKABAYASHI） <a href="mailto:mi.sakabayashi@faircongrp.com">mi.sakabayashi@faircongrp.com</a></p>
<p>上海総公司 上海市黄浦区茂名南路58号 花園飯店（上海）601室 電話：+86-21-6473-5450 担当：上原（UEHARA）日本国公認会計士 <a href="mailto:ik.uehara@faircongrp.com">ik.uehara@faircongrp.com</a></p>	<p>広州分公司 広州市天河区珠江新城珠江東路12号 高德置地冬広場H座1501室 V80 電話：+86-20-3268-9966 担当：古矢（FURUYA）日本国公認会計士 <a href="mailto:yo.furuya@faircongrp.com">yo.furuya@faircongrp.com</a></p>
<p>深セン分公司 深セン市福田区深南大道4019号 航天大厦A座610室 電話：+86-755-8252-8290 担当：古矢（FURUYA）日本国公認会計士 <a href="mailto:yo.furuya@faircongrp.com">yo.furuya@faircongrp.com</a></p>	

## <連載コラム>

### 中国なんくるないさ～通信 No.12

みなさんご存じかと思いますが、2022年5月17日現在、上海市は新型コロナウイルスの影響によるロックダウンにより、原則として外出禁止という厳しい政策が継続されています。当初予定していた上海市の浦東・浦西各地区それぞれ計4日間の封鎖政策は、既に47日目（浦東は51日目）へと突入し、いつ普段通り自由に外出が許可されるか分からない状況です。

感染者が爆発的に増加して、ロックダウンという強硬措置を取らざるを得なくなった上海市政府は、感染者をコントロールするために立て続けに様々な標語や管理方針を公表しつつつけていますが（社会的ゼロコロナ、三区分管理等）、完全な正常化まではまだまだ時間が掛かりそうな様子です。

今回の中国なんくるないさ～通信は、ゼロコロナ政策の是非や拡散されている悲しい話ではなく、ロックダウン期間中にSNSで拡散された面白い写真を中心に紹介し、暗い気持ちを少しでも和らげることができればと思います。



#### <配給待ちの上海>

ロックダウンが始まって早々、多くの人々が食糧の確保に悩まされました。その時の上海に住む人々の思いが体現した上海の風景です。

2條線



<恐怖の抗体原検査>

ロックダウン中は、抗体原検査キットが各家庭に配られ各自でほぼ毎日検査しますが、検査結果が2本線になっていないことを祈っています。



<杓白の交わり>

感染者は、隔離センターへ強制移送させられます。隔離センターは簡単なパーティションで仕切られた簡易施設がほとんどで、年齢性別関係なく、共同生活を通じて新たな友人ができます。



<隔離センターでのシャワー>

隔離センターによってはシャワーがないため、春雨で日頃の心身の汚れを落とす隔離感染者もいました。



<封鎖カレンダー>

毎日の封鎖と、連日行われる強制的な PCR 検査、いつまで続くのか日々記録することで正気を保っています。

 = 封鎖

 = PCR 検査

こちらで紹介した画像及び写真は、SNS で広く拡散されていたものであり、上海市ロックダウンとの関連性及び真偽については、保証できませんのでご了承ください。

一刻も早いロックダウン解除と日常生活の正常化、経済活動の再開を心より願うばかりです。

以上